

## 議会庁舎改築基本設計に係る各会派の意見及び対応

## 1 事業費に係るもの

## (1) 10月6日 改築協での意見

	会派意見	道の対応 (10月6日改築協時点)	道の対応 (12月14日改築協時点)	道の対応 (3月22日(水))
公明党	2 道民目線でコストを抑えた道議会庁舎 ○ 当初計画予算を超えることがないようコスト管理をする。	○ 今後の設計段階で具体的な整備内容について検討を行い、創意工夫をしつつ費用の抑制を図ります。	—	○ 庁舎の安全安心の確保、維持管理費の抑制、などを踏まえつつ費用の抑制を図りました。
日本共産党	1 道議会が取りまとめた基本計画では、建設費用の抑制から、地下駐車場設置は想定していない。今回の案は、地下への設置となっているが、建設費用が当初計画額を超えることのないようコスト管理をしっかり行うこと。	○ 今後の設計段階で具体的な整備内容について検討を行い、創意工夫をしつつ費用の抑制を図ります。	—	今後の実施設計においても抑制に努めてまいります。

## (2) 12月14日 改築協での意見

	会派意見	道の対応 (10月6日改築協時点)	道の対応 (12月14日改築協時点)	道の対応 (3月22日(水))
日本共産党	○ 事業費について ・道は、設計段階での費用の抑制を図ることとしているが、抑制策の具体的な内容・縮減額について明らかにすべきではないか。	—	○ 来年3月に予定されている改築協議会において、概算工事費と併せて費用の抑制内容についてお示しします。	○ 庁舎の高さを31m以下とすることによる資機材の数量削減、内装仕上げの標準品の採用、空調方式の見直しなどにより、建設費の抑制を図りました。今後の実施設計においても抑制に努めてまいります。

## 議会庁舎改築基本設計に係る各会派の意見及び対応

### 2 基本設計に係るもの

#### (1) 10月6日 改築協での意見

	会派意見	道の対応 (10月6日改築協時点)	道の対応 (12月14日改築協時点)	道の対応 (3月22日(水))
自民党・ 道民会議	1 現議会庁舎の資材の再活用 ○ 現議会庁舎の趣は北海道議会の歴史的 象徴空間であり、未来にその歴史を継 承、伝承するため、現議会庁舎の資材 を再利用	○ 議会運営に及ぼす影響や資材の 再利用の可否などを考慮し、再 利用を検討します。	-	○ 実施設計において、現庁舎の 資材の再利用の可否を調査の 上、判断してまいります。
民進党・ 道民連合	2 議会議論の活性化（議会改革協での議 論を含む） ○ インターネットによる配信（本会議、 委員会） ・来庁者共用スペースの設備設置	○ 基本計画を踏まえ、本会議や委 員会の中継を外部に配信する視 聴覚設備や道民ホールへのモニ ター設置などについて検討しま す。なお、具体的な整備内容に ついては、今後の改築協議会で 協議します。	-	○ 議会中継については、インタ ーネット配信が可能な設備を 導入します。また、議会庁舎 内の道民ホールや傍聴者ロビ ーにおいても視聴が可能な環 境整備を図ります。
公明党	1 道民が身近で親しみやすい道議会庁舎 ○ 多目的トイレの設置（おむつ替え、オ ストミー、脱臭機能など）	○ 基本的な考え方を踏まえ、女性 をはじめ誰でも使いやすくわか りやすい施設となるよう、多目 的トイレの設置や必要な機器整 備について検討します。	○ <b>【会派意見を踏まえ当初 設計案を変更】</b> ・1～6階に多目的トイレを設置 ・トイレ内の機器設備に ついては継続検討	○ 来庁者に開放する1階道民ホ ールのほか、途中階にそれぞ れストーマ洗浄対応としま す。
日本 共産党	4 各階毎に男女別トイレが設置されてい るが、基本計画に記載しているユニバ ーサルデザインとして、LGBTの方 々にも対応した誰でも使えるトイレを 各階に設置すること。また、ストーマ 洗浄に対応した設備を整備すること。	○ 基本的な考え方を踏まえ、誰で も使いやすくわかりやすい施設 となるよう、多目的トイレの各 階への設置や必要な機器整備に ついて検討します。		

(2) 12月14日 改築協での意見

	会派意見	道の対応 (12月14日改築協時点)	道の対応 (3月22日(水))
北海道 結志会	○ 開かれた議会運営に当たっての設備の整備について、十分に留意されるようお願いしたい。	○ 将来的な一問一答方式に対応できるよう、議場には第二演壇の設置を可能とするほか、「基本的な考え方」を踏まえ、議会活動や議会運営の円滑化を図るため、議会中継を配信する視聴覚設備など情報通信技術の活用について検討します。	○ 議会中継については、インターネット配信が可能な設備を導入します。 ○ 道民ホール、傍聴者ロビーに多目的に利用可能なモニタ等を設置し、議会中継の視聴や会議案内など議会活動にかかる情報提供を充実させます。 ○ 一問一答方式に対応できるよう第二演壇のほか、各席へのマイクやカメラを将来的に設置が可能となるよう必要な整備を図ります。
公明党	○ 道有材を活用した施設は、国内外からの来訪者に北海道の魅力を発信する貴重な機会となる。特に断熱・遮音等に優れている道産材CLTは国の認定に向けて道総研が研究を進めており積極的な活用を検討すべきである。このため、総事業費に影響が生じない範囲で、内装材の一部にPR用として整備してはいかがか。	○ 「基本的な考え方」では、道産木材の活用に努めることとしており、こうした趣旨を踏まえ、内装材の一部への道産材CLTの利用について導入コストを勘案しながら検討します。	○ 議会庁舎改築工事はWTO適用工事となるため、実施設計において道産材の活用手法について整理してまいります。
日本 共産党	○ ユニバーサルデザインについて、海外からの観光客などに対応できるよう多言語表示を整備すること。	○ 多言語表示については、食堂や傍聴者ロビー、道民ホールなどといった場所への移動や利用について、外国人観光客等が不自由のないような設計を検討します。	○ 庁舎の案内表示は、外国人観光客等もわかりやすいよう多言語表示や絵文字表示について実施設計において整理してまいります。

## 議会庁舎改築基本設計に係る各会派の意見及び対応

### 3 環境に配慮した技術の導入に係るもの

#### (1) 10月6日 改築協での意見

	会派意見	道の対応 (10月6日改築協時点)	道の対応 (12月14日改築協時点)	道の対応 (3月22日(水))
民進党・道民連合	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ガスコージェネレーションなど新エネの導入検討</li> <li>○ 新庁舎、赤れんが、本庁舎、別館、道警庁舎など、この地域を新エネモデル地域としていく。</li> <li>○ 将来的な近隣商業施設とのエネルギー連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道議会で策定した議会庁舎改築基本計画(以下基本計画)や道が策定した議会庁舎の整備に当たっての基本的な考え方(以下基本的な考え方)を踏まえ、エネルギーに係るコストや利用効率など費用対効果にも留意しつつ、省エネルギー技術や新エネルギーの導入について検討します。</li> <li>○ なお、具体的な整備内容については、次回の改築協議会で協議します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基本設計案は、限られた予算のなかで整備面積や費用対効果、整備費用の抑制を基本に検討しており、現時点においては新たな環境配慮技術の導入は難しいと考えます。今後、国費等導入の検討や整備費用の抑制などの状況を踏まえ、省エネ・新エネの導入を検討します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「新エネルギー導入加速化基金」などを活用し、道庁地区全体で新エネルギーの導入を検討します。</li> </ul>

#### (2) 12月14日 改築協での意見

	会 派 意 見	道の対応 (12月14日改築協時点)	道の対応 (3月22日(水))
自民党・道民会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道では、本道における新エネの導入拡大に向け取り組んでいる。このため、議会庁舎の改築整備に当たっては、特に水素など先駆的な新エネ技術の導入についての検討も必要と考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基本設計案は、限られた予算のなかで整備面積や費用対効果、整備費用の抑制を基本に検討しており、現時点においては新たな環境配慮技術の導入は難しいと考えます。今後、国費等導入の検討や整備費用の抑制などの状況を踏まえ、省エネ・新エネの導入を検討します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「新エネルギー導入加速化基金」などを活用し、道庁地区全体で新エネルギーの導入を検討します。</li> </ul>
民進党・道民連合	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 環境配慮技術は、システムの導入費用や導入によるランニングコスト削減のほか、環境配慮に対する貢献度や姿勢などといった数値で表すことができない効果を考慮し、最先端の環境配慮技術を導入することを大前提に検討したうえで、予算にも配慮するべきである。</li> </ul>		
北海道結志会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 様々な環境配慮項目について、費用対効果の視点から採用・不採用を検討されているようだが、環境配慮効果の高い技術については採用を検討する必要があるのではないかと。道の新エネルギー導入促進の施策などとも十分に整合させた検討をお願いしたい。</li> </ul>		
公明党	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新エネ・省エネ技術を積極的に導入し、議会庁舎の機能を高めることは必要と考える。一方で、総事業費が増高する要因にもなることも考えられることから、これらのバランスを十分考慮したうえで、更なる省エネ・新エネ技術の導入について検討してはいかかがか。</li> </ul>		
日本共産党	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道は、新エネ・省エネ促進条例を定め、また、年度内に新エネルギー導入加速方策(案)の策定を検討しており、率先して省エネ・新エネの導入の取組を進めることとしている。こうしたことから、議会庁舎の整備に当たっては、先導的な省エネ・新エネ技術の導入を積極的に行うこと。</li> </ul>		

## 道庁周辺地区での新エネルギー導入加速

### 【趣 旨】

議会庁舎の改築、赤れんが庁舎の大規模改修・利活用といった道庁地区が大きく変わる時期を捉え、新エネルギーを率先導入する姿勢や施設の維持管理費の低減に向けて、新たな技術の導入を検討。  
(実施)～平成30年度から平成33年度までの間に、可能なものから順次整備

### 【導入の概要】

<b>道庁</b>		□議会の消費電力増加分の自家発電機能を太陽光と併せて強化
水素 エネルギー	○コジェネレーション発電（本庁北側に燃料電池を設置） ・都市ガスから水素を取り出し、酸素と反応させ発電・熱を確保	
<b>議会庁舎</b>		□井水を活用した設備で道民利用施設（道民ホール、図書室、傍聴者ロビー）を冷暖房 □一次エネルギーを45%程度削減（省エネを含む）
井水 エネルギー	○井水をヒートポンプの熱源に活用し室内を冷暖房	
太陽 エネルギー	○太陽光パネル発電（庁舎屋上にパネルを設置）	
<b>赤れんが</b>		□雪氷エネルギーを活用し室内冷房を支援 □除雪した雪を融雪し、雪の排せつ場所の確保や景観を維持
雪氷 エネルギー	○来庁者駐車場に貯雪槽を設置し、冬季は井戸水を利用した融雪、夏季は残雪を活用した室内冷房	
<b>駐車場等</b>		□災害時（停電時）において一時避難者の携帯への充電を支援 □排熱エネルギーを活用したロードヒーティング
小風力 エネルギー	○来庁者駐車場等にLED街路灯（コンセント付）を複数基設置 ・風力（太陽光）を利用し、道庁前庭（一時避難所）で携帯を充電	
排熱 エネルギー	○本庁舎歩道のロードヒーティング ・本庁機械室の排熱を活用	